

2020年8月3日

無所属・日本共産党

野 角 満 昭



新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ

坂出市政におかれては、新型コロナウイルス感染症対策に係わり積極的な取り組みを行っていることに敬意を表します。

全国的に感染者数は、政府の「G0 T0トラベル」の実施強行などにより、日々急増しており本市においても予断を許さない状況のもと更なる本格的対策が、緊急に求められています。日本共産党においては、中央段階での安倍総理への緊急申し入れを行い、(別紙)、感染急拡大を抑止するためには、PCR等検査の思い切った大規模化などを含め、早急な対策を提案し、さらに県段階においても先日、知事への申し入れを行ってきたところです。

本市においても、6月定例議会において対策を求めた経緯がありますが、その後の全国的な感染急拡大のもと、改めて第2波に備えての対策を急いで実現して頂きたく、申し入れを致します。

1. PCR検査機器については6月議会での答弁で、市立病院で購入を予定するとともに市内の医療体制の整備やPCR検査センサーだけでなく発熱外来の整備を検討するところでありました。この点で急拡大しつつある第2波に備えて、早急にこれを実施して頂きたい。その際、抗原検査と組み合わせ、感染の実態が把握できる目標値と計画をたてること。また、加えて民間医療機関におけるPCR検査体制の拡充を進めるとともに、地域、企業、学校、諸施設における集団検査の実施体制を確立して頂きたい。

2. 医療機関に対して、医療崩壊をくい止めるための直接的な財政支援を行うとともに、感染者の受け入れや準備のための補助、また一般患者の減少による減収への財政支援を行うこと。さらに介護事業所における、介護利用者のサービス控えや、感染防止対策の出費増への支援策を行うとともに、利用者の負担増については公費で補填すること。併せて医療従事者への賃金や手当の削減がおきないようにするとともに、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金が、該当者に行き渡るよう指導する。

これらの対策を本市として急いで実施するとともに、それらの財政出動について県・国にも強く求めて頂きたい。

3. 学校教育における少人数学級の実現はコロナ対策のうえからも急務であり、この立場から教員増などを県に強く求め実現して頂きたい。

4. 働く人の雇用と生活を守るため、持続化給付金の支給要件の緩和を国に求めるとともに、市として制度の周知徹底と相談体制の強化を図って頂きたい。倒産、解雇、雇い止めを防止するとともに、今後休業要請する場合は補償とセットとなるよう働きかける。さらに外国人労働者や技能実習生の実態を把握し、必要な援助を行って頂きたい。

5. 感染拡大の要因の一つである政府の、「G0 T0トラベルキャンペーン」を中止し、その財源をコロナ対策や、国民生活の支援に充てるよう政府に求めて頂きたい。